

施策カールテ

1 施策の位置付け

担当課 保健所総務課

総合計画 政策の柱	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	日常生活の安心感を高める	取組の 基本方向	「日常生活の安心感を高める」ため、健康危機の未然防止や拡大防止のための「健康危機管理対策の強化」に重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	地域社会や事業者、行政が連携して日常生活を取り巻くさまざまな危機に対応し、市民が安全で安心した生活を送っています。
--------------	---------------------------	----------------	--------------	-------------	--	------------------	---

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	健康危機管理対策の強化						施策の 達成 状況	施策指標(単位)						達成率 (%)		
	市民の生命や健康を脅かす健康危機に対応できる環境が整っています。							H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標			
施策目標	市民の生命や健康を脅かす健康危機に対応できる環境が整っています。						健康危機に関する模擬訓練の実施	---	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	---	100.0%	
施策を取巻く 環境	市民が安心して、安全に暮らせるため、新型インフルエンザの発生など、健康を脅かすような危機が発生した場合に対応できるよう、各事業の施策の充実強化がより一層求められている。							実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	---			
市民の 施策満足度	33.2%	施策の 評価	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)		説明	健康危機管理計画の策定や専門委員会等の立ち上げなど、危機管理体制の基幹部分の整備は完了している。また、専門委員会の開催や新型インフルエンザ対策実施訓練を実施し、概ね達成できたといえる。	---	1	1	1	1		---
市民の 施策重要度	82.2%		必要性 (住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している		説明	新型インフルエンザやNBCテロ(核物質、生物剤または化学剤もしくはこれらを用いた大量破壊(殺傷)兵器を使用したテロ)などの新たな健康危機が発生する可能性はあり、必要性は高まっている。	1	1					---
			効率性 (事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	健康危機に対する適切な管理能力を高めるための研修の実施や健康危機管理体制の実効性を高めるための専門委員会の開催など事業の進捗は十分である。	---							
			有効性 (政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明	健康危機が発生しても、被害が最小限に抑制され、迅速に、平常時の状態へ回復するために有効である。						---		
<p>現状 課題 分析 と 抽出</p> <p>市民が安心して、安全に暮らせるため、万が一に発生した健康を脅かすような危機に対応できるよう、新型インフルエンザ対応マニュアルの見直しや対応訓練を実施する等、健康危機管理対策を推進したが、これらの対策が有事の際に、実効性のあるものとなるよう検証を行う必要がある。</p>																

3 今後の取組方針

取組の 考え方	新型インフルエンザの発生時に適切に対応できるよう、より実効性のあるマニュアルの見直しや訓練の実施、関係機関とのより一層の連携を深めるための連絡会議等の開催などを行う。	→	政策評価 会議意見	市民の生命や健康に重大な影響を及ぼす健康危機を最小限に抑えるため、その管理対策の強化は、安全で安心な日常生活を送るための重要な要素である。これまで、新型インフルエンザの発生に備えた行動計画の策定や模擬訓練を実施してきたところであるが、新型インフルエンザの国内・市内発生における対応状況を改めて検証することにより、行動計画や対応マニュアルにおける各課の具体的な役割や内容について再度見直し、より実効性の高いものとする。
------------	---	---	--------------	--

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
					実績値	実績値					
1	新型インフルエンザ対策 担当課 保健予防課	市民	H20	対応訓練実施回数	0	1	313	394	A	拡大	新型インフルエンザによる健康被害を最小限にとどめるためには、社会全体での取組が重要であることから、市民をはじめ、企業や関係機関等への働きかけを強化するなど事業を拡充して実施する必要がある。
					0	1					
2	感染症発生動向調査事業 担当課 保健予防課	市民, 医療機関, 県, 国	H11	感染症報告数(全数+定点)	8,000	8,000	1,107	2,548	A	継続	感染症発生に係る情報の収集・分析・提供を行うことは、感染症のまん延を防止する上で重要であり、継続が必要である。
					7,863	8,109					
3	感染症の発生・蔓延防止対策 担当課 保健予防課	感染者患者及びその接触者, 感染症に感受性のある全市民	H11	一~三類感染症報告数	0	0	2,136	2,314	A	継続	健康診断の勧告及び汚染箇所の消毒は、感染症のまん延を防止する上で不可欠であるため、継続して実施していく。
					9	10					
4	健康危機管理対策事務費 担当課 保健所総務課	市民	H14	専門委員会の開催	1	1	81	216	A	継続	健康危機に対応できるよう、県や医療機関、専門家等との連携を強化するため、継続して実施していく。
					1	1					
施策事業費合計					3,637	5,472					